

地域の団体・施設紹介

青少年育成委員は、今年も成人式で活躍しました。
富田勝也さん(※写真右)からのご説明です。

ご略歴

豊平区中の島青少年育成委員(昭和63年～)
豊平区青少年育成委員会 議長(平成11年4月～)
札幌市青少年育成委員会 議長(平成20年4月～)



青少年育成委員とは?

札幌市では、昭和61年に整備された青少年育成制度に基づき現在、市内90地区で1,800人の委員が市長より委嘱されています。

豊平区では、190名の育成委員が任命されています。区内で9地区レベルの青少年育成委員会による地区ごとの活動も行っています。

スポーツに関する事業及び文化事業、子ども会等の団体に対する協力、青少年に有害な環境の排除、及び非行防止。そして健全な育成のために必要な活動、地域のパトロールなどが主なものです。

特に毎年の成人式は、青少年育成委員会が大きな役割を担っています。

今年も、1月11日に豊平区成人式が札幌市民ホールで行われましたが、当日は、楽しいアトラクションも交えながらも、静粛の内に終わりました。



羊ヶ丘養護園の新園舎が完成しました♪

昭和32年に開園した児童養護施設 羊ヶ丘養護園(豊平区月寒東1条17丁目)は、建物の老朽化も進んでいたことから、平成27年3月から隣接地への新築移転工事に着工し、このたび11月1日に新園舎が完成しました。

新園舎完成にあたって、入所している子どもたちと職員でお祝いセレモニーを行い、前園長の故 千葉智正氏の「新園舎が完成したらお祝いのアドバルーンを掲げて子どもたちを喜ばせたい」との願いをかなえ、ゾウとクマの2基のアドバルーンを新園舎に掲げました。

新園舎は、ライラック・スズラン・かがやき・はばたき・ナナカマド・ポプラという6棟のユニット形式となっていて、子どもたちはそれぞれの棟に7～8名で生活しています。1階にはゆったりとしたリビング、2階には子どもたちの個室や2人部屋があり、家庭的な雰囲気の新園舎に子どもたちも大喜びです。

三浦伸子施設長は、「子どもたちが、温かい家庭的な環境で過ごさせていることがなによりうれしい。これまで『養護園』と言っていた子どもたちが、『おうち』と呼んでいるんです。」とお話してくださいました。

